2011 年 12 月　13 日

報道関係者　各位

マジックソフトウェア・ジャパン株式会社

KDDI が提供する Android™搭載 au スマートフォン向けプッシュ配信サービスの連携基盤に Magic jBOLT を採用
～CRM と Chatter 連携をクラウド上で実現～

マジックソフトウェア・ジャパン株式会社（代表取締役社長：佐藤敏雄　本社：東京都渋谷区、以下マジックソフトウェア）は、KDDI 株式会社（代表取締役社長：田中孝司　本社：東京都千代田区、以下 KDDI）が提供している Android™搭載スマートフォンからご利用いただけるアプリケーション「KDDI Advanced Viewer for Salesforce」向けのプッシュ配信サービス基盤に、当社のシステム連携プラットフォーム「Magic jBOLT」が採用されたことを発表いたします。

KDDI が提供を開始する本サービスでは、Salesforce の商談・顧客情報の変更情報、およびニュースコンテンツの更新情報が、KDDI の Android 搭載スマートフォンにプッシュ配信で通知されます。通知を受け取ったユーザーは、機会を逃さずスマートフォンを通じて商談・顧客情報やニュースを知ることが可能になります。
本サービスについての詳細は、KDDI のホームページをご参照ください
（http://www.kddi.com/business/news/information/111213/index.html）

■Magic jBOLT の役割と活用
このサービスで Magic jBOLT は、Salesforce の更新状況を常に監視し、更新を検知するとその情報を KDDI のプッシュ配信基盤に即座に受け渡す役割を果たしています。またニュース情報に関しては企業内ソーシャルサービス「Chatter」にも Magic jBOLT が書込みます。
Magic jBOLT が装備している各種アダプターを活用すれば、ERP やグループウェアなど企業内で利用されている既存の様々な業務アプリケーションの情報をプッシュ配信でスマートフォンに通知することも可能になります。（標準サービスではありません。別途応相談）

【Magic jBOLT について】
企業内外のアプリケーション・サービス・データ・デバイス間を有機的に連携するシステム連携プラットフォームです。60 種 400 機能もの各種アダプター・コネクター群を備え、ノンコーディングで複雑なデータ連携フローとロジックの設計・実装、運用を短期間、低コストで実現します。

【マジックソフトウェア・ジャパンについて】
イスラエル本社を中心に、全世界 50 カ国以上のビジネスネットを持つマジックソフトウェア・エンタープライゼス（NASDAQ：MGIC）の 100%出資による日本法人です。
ビジネスアプリケーション開発・実行フレームワーク「Magic uniPaaS」と、サービス指向のシステム連携プラットフォーム「Magic jBOLT」の開発・販売を核に、さまざまなソリューションとサービスの提供を行っています。
マジックソフトウェア・ジャパン株式会社に関する詳細は、http://www.magicsoftware.com/jp/でご覧いただけます。

本社所在地：　東京都渋谷区代々木三丁目 25 番 3 号
代表：　代表取締役社長　佐藤敏雄
事業内容　：

・開発ツール分野：Magic uniPaaS、および関連製品の仕入/製造、販売業務
・連携ツール分野：Magic jBOLT の仕入/製造、販売業務
・プロフェッショナルサービス：ツール製品の教育、サポート業務　他

Magic uniPaaS、Magic jBOLT は、マジックソフトウェア・ジャパン株式会社の登録商標です。

本件に関するお問い合わせ先
マジックソフトウェア・ジャパン株式会社
マーケティング部　渡辺
TEL：03-5365-1648（直通）　FAX：03-5365-1690
E-mail：twatanabe@magicsoftware.com